

みえ県議会だより

NO. 174

令和2年
(2020年)
2月1日



高宮歴史博物館 (明和町)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例案などを可決～ 令和元年三重県議会定例会 11月定例会議

CSF (豚コレラ) 対策や園児等子どもが日常的に移動する経路の安全確保対策等を含む令和元年度一般会計補正予算、土砂等の埋立て等の規制に関する条例案などについて審議し可決しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)
- 2～3面 一般質問、用語解説 ほか
- 4面 第1回「みえ現場de県議会」を開催、第2回「みえ現場de県議会」のお知らせ、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を開催、全国都道府県議会議長会農林水産環境委員会の要請活動に出席、2019年三重県議会の活動10大ニュース、第19回都道府県議会議員研究交流大会に参加

審議結果

可決した議員提出議案

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

可決した議案

令和元年度三重県一般会計補正予算(第5号) ほか22件

条例

○三重県公文書等管理条例案
○三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例案
○知事及び副知事の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例案 ほか13件
○当せん金付証券の発売について ほか8件

認定した一般会計・特別会計決算

○平成30年度三重県一般会計歳入歳出決算
○平成30年度三重県県債管理特別会計歳入歳出決算
○平成30年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算

主な開催実績

- 10月
 - 23日、24日 予算決算常任委員会 当初予算編成に向けての基本的な考え方
 - 28日 予算決算常任委員会 一般会計・各特別会計決算認定議案にかかる総括質疑
 - 30日、31日 予算決算常任委員会各分科会 所管事項の調査、議案の審査
 - 31日 総務地域連携常任委員会 所管事項の調査
- 11月
 - 15日 予算決算常任委員会 議案の審査、所管事項の調査
 - 25日 本会議 決算認定議案13件認定、議提議案1件上程、議案48件上程
 - 27日 本会議 議案に関する質疑(3人)
 - 29日 本会議 外国人労働者支援調査特別委員会 今後の委員会の進め方について 一般質問(5人)

審議結果と主な開催実績

- 平成30年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算
- 平成30年度三重県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 新過疎対策法の制定を求めることについて 採択した請願
- 私学助成について

不採択とした請願

○各種学校等への幼児教育・保育無償化制度の拡充を求めることについて

可決した意見書案

○私学助成の充実を求める意見書案
○高齢者施設等の非常用自家発電設備の整備に関する補助制度の拡充を求める意見書案
○新たな過疎対策法の制定を求める意見書案
○「あおり運転」の厳罰化に向けた法改正等更なる対策の強化を求める意見書案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

三重県議会定例会 今後の日程 (予定)

2月から3月までの主な会議の予定は、次のとおりです。

- 2月
 - 3日 代表者会議
 - 10日 議会運営委員会
 - 12日 全員協議会
 - 17日 本会議(議案上程)・議案聴取会
 - 18日 議案聴取会・議会運営委員会
 - 25日 議会運営委員会
 - 27日 本会議(代表質問、議案質疑)
 - 27日 本会議(一般質問)
 - 27日 本会議(一般質問)
 - 3日 本会議(追加議案上程)
 - 3月
 - 3日 本会議(代表質問、議案質疑)
 - 3日 本会議(一般質問)
 - 5日 本会議(一般質問、議案質疑)
 - 6日 本会議(一般質問、議案質疑)
 - 9日 本会議(議案上程・採決)
 - 9日 本会議(議案上程・採決)
 - 17日 各常任委員会・分科会
 - 17日 予算決算常任委員会
 - 18日 代表者会議、議会運営委員会
 - 19日 本会議(採決)
 - 31日 本会議(議案上程・採決)
- ※この日程は、令和2年1月6日現在の予定です。最新の情報は、議会ホームページ内「議会の日程」でご確認ください。

一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

公立・公的医療機関の再編・統合の公表について

奥野 英介 議員
(草莽/伊勢市選出)



問 9月、厚生労働省は、再編・統合の議論が必要な全国の病院を公表し、県内でも7病院が対象とされました。しかし、すでに統合や病床機能の転換等に取り組んでいる病院も含まれており、地元事情を考慮せず機械的に対象病院を決めたことに対し、反発や困惑が広がっています。県は丁寧な議論をしていきたいと

答 本県では、地域医療構想の実現に向け、県内8地域の地域医療構想調整会議において、地域の実情をふまえた議論を行ってきており、今回の国の公表は極めて遺憾です。対象とされた病院は、地域医療を守る上でなくてはならない病院であり、引き続き地域にふさわしい医療提供体制の構築に取り組んでいきます。



その他の質問事項

○地域にとって必要な医療の確保に向けて

○財政健全化と投資について ほか



▲一般質問 (奥野英介 議員)

道路冠水におけるハード対策の必要性について

村林 聡 議員
(自民党/度会郡選出)



問 道路冠水対策について6月に質問した時の県の答弁では、まず冠水箇所の周知などソフト対策を中心に実施するとのことであり、私はハード対策もしっかりと進めていただきたいと要望しました。その後、道路冠水による死亡事故もあつた度会町内の伊勢大宮線で、一部ハード対策の実施に向けて調整されているとのことですが、今後の取り組みについてお聞かせください。

答 県道伊勢大宮線の度会町地内における冠水対策としては、道路冠水時に他路線への迂回が困難な長原地区において道路のかさ上げを実施します。今年度中に測量設計を進め、来年度は用地取得に着手し、用地取得後は速やかに工事を実施する予定です。今後とも度会町と十分に協議を行い、協力を得ながら進めていきます。



その他の質問事項

○その後の①半農半Xと公務員の兼業について

○新たな手法による地籍調査の推進について ほか



▲一般質問 (村林聡 議員)

9月の豪雨・台風による県内被害について

山本 里香 議員
(日本共産党/四日市市選出)



問 9月来の豪雨・台風による県内の被害に対し、被災者生活再建支援法の適用はありませんでした。適用がないと三重県災害見舞金は支給されません。被災された方は、豊や家電製品等を買替えるだけでも大変です。被災者生活再建支援法の適用基準や三重県災害見舞金の支給基準の見直しについて、県の考えをお聞かせください。



答 県内市町のいずれかで被災者生活再建支援制度が適用された場合には、同制度が適用されない市町にも県の災害見舞金制度が適用されます。また、平成23年の紀伊半島大水害など大規模災害の際には、被災者生活再建支援制度が適用されない市町も対象にした支援制度を設け被災者支援を行いました。今後も、災害の状況などを十分に勘案しながら、検討、判断していきます。

その他の質問事項

○オスプレイ県内再飛来について


○三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例の改正のあり方について ほか



▲一般質問 (山本里香 議員)

子どもたちの命を守る学校に！

小島 智子 議員
(新政みえ/桑名市・桑名郡選出)



問 学校の一番の責任は、子どもたちの命を守ることです。そして、災害時に子どもたちの命を守るためには、防災に関する教職員の認識・知識が重要です。②大川小判決を受け、さらに教職員が防災意識を向上させ、災害時における適切な判断能力を得るためには、被災地を訪問するなどの実体験を通じた研修の推進が必要と考えますが、県の考え方についてお聞かせください。

答 今後、教職員を東に派遣し、実際の災害時の状況や対応を学ぶ研修等の実施を検討します。また、来年度から、災害対応能力を備えた教職員を育成し、災害時の学校運営を支援する「災害時学校支援チーム(仮称)」を設置する予定です。あり、その育成においても被災地での研修を検討します。



その他の質問事項

○三重県とスペインバスケット自治州との覚書から

○犯罪被害者支援のさらなる一歩を！ ほか



▲一般質問 (小島智子 議員)

河川の維持管理に対する財政措置について

山本 佐知子 議員
(自由民主党県議団/桑名市・桑名郡選出)



問 これまで、県管理の河川の維持管理のための堆積土砂撤去には起債を充当することができず、限られた予算の中、地域の要望に応えることは難しい状況でした。しかし、令和元年11月、総務省は地方自治体が行う河底の掘削工事を進めるための新制度を来年度の地方財政対策に盛り込むことを検討していると発表しました。実現すれば河川の維持管理に大いに役立つと考えますが、県の考えをお聞かせください。



答 総務省の発表は、本県としても是非実現していただきたい内容であったことから、地方自治体が河川等の管理を充実させ、治水対策を強化できるように、堆積土砂撤去及び樹木伐採等の③適債事業化や元利償還金に対する地方交付税措置について、総務省に要望を行いました。引き続き、国に働きかけていきます。

その他の質問事項

○観光について

○RDF焼却・発電事業の今後の取組 ほか



▲一般質問 (山本佐知子 議員)

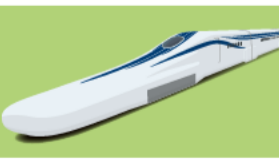
リニア中央新幹線の早期実現に向けて

長田 隆尚 議員
(草莽/亀山市選出)



問 現在、リニア中央新幹線の整備に向けて関係機関における協議等が進められており、三重県としてもしっかりと取り組みを進めていただきたいと思います。そこで、東京・名古屋間の2027年の開業や、名古屋・大阪間の2037年の開業目標の達成、県内駅位置の早期確定など、リニア中央新幹線の早期全線開業の実現に向けた知事の思いについてお聞かせください。

答 2023年には、環境アセスメントの着手と県内のルート・駅位置が明らかになることが想定されるため、JR東海の担当部門と意見交換を重ねる等、連携を密に取り組みを進めているところです。東京・名古屋間の2027年開業や県内駅位置の早期確定等、一日も早い全線開業のため、オール三重でしっかりと取り組んでいきます。



その他の質問事項

○災害に強い県土づくりについて

○中小企業・小規模企業の振興について ほか



▲一般質問 (長田隆尚 議員)

災害時のインフラ確保について

廣 耕太郎 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問 令和元年9月に上陸した台風第15号の影響により、千葉県では、県全体の3分の1にあたる約93万5千戸が停電し、すべてが復旧するまでに16日かかりました。三重県はこの事例を検証し、今後の防災対策に生かすべきであると考えます。そこで、災害時の電力確保について、県の考えをお聞かせください。

答 本県では、大規模停電時の検証として、情報収集・発信体制の確保のために必要な防災通信ネットワークを支える庁舎等の自家発電装置の稼働状況の再確認などを実施しました。今後は、自家発電装置の燃料確保のため、三重県石油商業組合等と連携を深めるほか、倒木対策について電力会社との調整や、市町等に対して停電時の対応の啓発に取り組んでいきます。



その他の質問事項

○災害時に多数の傷病者が発生した際の対応について

○防災教育について ほか



▲一般質問 (廣耕太郎 議員)

申し合わせにより決められた議員の一般質問の一部を掲載しています。

今後の県有スポーツ施設の整備について

山崎 博 議員
(自由民主党県議団 / 四日市市選出)



問 県営松阪野球場は、電光掲示のスコアボードも照明灯も無く、私が高校球児として昭和56年〜58年にマウンドで投げた時代から何も変わっていない時代から何も変わっていません。2年後の三重とこわか国体で、当球場は高等学校軟式野球の会場になっていきますが、今後どのように整備していくのか、またその他の県有スポーツ施設についても、国体に向けた整備の考え方を教えてください。

答 松阪野球場は、観客席の防護フェンス改修や外野芝生の段差解消など、安全面を優先し対策を行ってきており、今後は順次、利便性、快適性の確保も図っていきます。その他の施設についても、競技の運営上必要不可欠となる改修や補修等についてきちんと対応し、準備に怠りのないよう努めていきます。




その他の質問事項

- 中小企業・小規模企業の事業承継時における個人保証の見直しについて
- 中小企業・小規模企業の災害に備えたりスクマネジメントについて



自然災害への事前の対策について

川口 円 議員
(新政みえ / 津市選出)



問 私は日ごろから、「防災の本質は予防にある」と考えています。11月に熊本県で、熊本地震における災害対応の話を聞き、この考えを再確認しました。「行政は住民を災いなき地におき、災いの前に逃す。住民は、疑わしきを察し、災いの前に逃れる。これを忘れたときに人命は奪われる。」すなわち、「予防に勝る対策なし」です。そこで、知事の防災に対する考えをお聞かせください。



答 現場主義を心がけ、県内外の被災地へ赴き、対策を検討してきました。予防意識を醸成するため、伊勢湾台風60年関連事業を開催したほか、応急期、復旧・復興期に備えた事前対策にも取り組んでいます。今後も自助、共助、公助の力を結集し、「防災の日常化」の定着に向け、対策の強化を図ります。


その他の質問事項

- 観光振興の取組について
- 伊勢湾の水産振興について



当初予算における国土強靱化対策について

石田 成生 議員
(自由民主党県議団 / 四日市市選出)



問 国土強靱化に関する事業は、現在のみならず、後年の県民の暮らしの安全・安心を守る事業でもあり、しっかりと推進していくことが重要です。厳しい財政状況にあるものの、令和2年度当初予算の編成に当たっては、国土強靱化に係る予算を十分に計上し、必要な事業をやり切るのだという姿勢を見せていくことが重要と思えますが、県の考えをお聞かせください。

答 令和2年度は「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策の最終年度であり、目標を確実に達成するため、地方債も活用するなどしてしっかりと対応します。県民の皆さんの命と暮らしを守るため、いづどこで起こるかもしれない国難レベルの災害に負けない県土づくりを切れ目なく推進していきます。



その他の質問事項

- 三重県職員全体のコンプラライアンスについて
- 県管理道路における未登記の整理について



看護師に対するハラスメント対策の推進について

津村 衛 議員
(新政みえ / 尾鷲市・北牟婁郡選出)



問 県は看護師不足を補うために、確保対策などさまざまな取り組みを行っていますが、看護現場で安心して働くことができる職場環境づくりも重要であると思えます。20代の看護職の離職理由の一つが、患者や家族等からのハラスメントによるものだとされており、まずは被害の実態を調査するべきであると思えますが、県の考えをお聞かせください。



答 国においては、本年度、「看護職等に対する暴力・ハラスメント」を進めたいです。この調査をふまえて、本県でも、看護師に対するハラスメント被害の実態把握のための調査を県内の病院を対象に実施することとしており、看護師の方々が安心して働ける職場環境づくりにつなげていきたいと考えています。


その他の質問事項

- スマート改革の推進について
- 三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例(案)について



「食」の国際展開の取組成果について

三谷 哲央 議員
(新政みえ / 桑名市・桑名郡選出)



問 県は平成27年に、「食」をテーマとした「ミラノ国際博覧会」や、アメリカで開催された、世界の食を紹介する国際会議「ワールド・オブ・フレイバー」に出展し、三重の「食」の販路開拓や県内の次世代料理人の育成に取り組んできました。また、今年11月には「食」の連携強化等を目的にスペインも訪問しています。これらの成果についてお聞かせください。



答 県は、海外市場への展開をめざす県内企業を支援するため、地域別に重点的に取り組む項目を定め、国際展開を図ってきました。「みえの食」の海外展開は、その認知度向上や販路開拓、輸出事業者の増加、人材育成などにつながっており、今後とも国や地域の特性に合わせ、戦略的に国際展開を図っていきます。

その他の質問事項

- 三重とこわか国体・三重とこわか大会はSDGsに込められるか
- 木曾岬干拓地の土地利用について



用語解説

1 半農半X
京都府綾部市在住の塩見直樹氏が1990年代半ば頃から提唱しているもので、自分や家族の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間は自分の好きなことで収入を得るために使うという、農業と別の仕事を組み合わせる生き方のことです。

3 適債事業化
地方債（地方公共団体が財政収支の不足を補うために一会計年度を超えて長期にわたり借り入れる借入金）を活用することができる事業とすることです。

2 大川小判決
令和元年10月に確定した、宮城県石巻市立大川小学校の津波訴訟最高裁判決のことです。「学校には児童の安全を確保する義務があり、学校が津波に襲われる危険性を予見することは十分可能であったが、津波からの具体的な避難場所と、避難経路、避難方法を定めていなかったことが、子どもたちや教職員の尊い命を失うことにつながった」というものでした。

4 SDGs
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、持続可能な世界を実現するため、国連加盟193か国が2016年〜2030年の15年間で達成する国際目標であり、貧困や健康、教育など17の目標、169のターゲットから構成されており、2015年9月の国連サミットで採択されました。

三重県議会の本会議等で行われる議会の用語解説については、議会ホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/28772011845.htm>

自治功労者表彰
11月25日、議場で在職15年以上及び在職10年以上の自治功労者として、全国都道府県議会議長会の自治功労者表彰が議長から伝達されました。

在職15年以上 北川 裕之 議員
在職10年以上 森野 真治 議員

会議の傍聴のご案内

- 本会議
 - ・受付時間 本会議開始30分前から
 - ・定員 180人
 - ・傍聴の方法 議事堂1階の傍聴者用エレベーターで、6階傍聴受付へお越しください。そこで傍聴券・資料などを受け取り、議場へお入りください。
- 委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議等
 - ・受付時間 会議開始30分前から
 - ・定員 10人(会議開始10分前に定員を超えた場合は、抽選で決定します。)
 - ・傍聴の方法 議事堂正面玄関右側の1階受付で傍聴券を受け取り、各室の傍聴者入り口からお入りください。

※議会日程や議会に関する最新情報などは、県議会ホームページをご覧ください。

第1回「みえ現場de県議会」を開催

11月7日、令和元年度第1回「みえ現場de県議会」を開催しました。この取り組みは、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的として、平成22年から実施しています。

今年度第1回目は、尾鷲市早田^{はいた}コミュニティセンターにおいて「水産業の振興」をテーマに開催し、漁村に4週間滞在しながら漁業を学ぶ「早田漁師塾」の関係者の方をはじめとした8名の県民の皆さんと、県議員8名が出席しました。

当日はまず早田漁港を視察し、早田地区の漁業について説明を受けた後に、意見交換を行いました。

参加者からは、「水揚げ量は減少しているが、漁業は続けていかなければならないし、大型定置網漁は各地区に残っていないと、地区はどんどん寂れていく」、「早田町で獲れた魚を取り扱う仕事をしているが、漁の休業期の会社運営が課題になっている」といった現状や、「これからは資源管理が大切になってくる」、「魚の価値向上や、魚食の振興に力を入れていただきたい」といった意見が出されました。



早田漁港視察の様子



意見交換の様子

第2回「みえ現場de県議会」のお知らせ

第2回「みえ現場de県議会」は「若者の県内定着の促進」をテーマに開催します。三重で生まれ育った子どもたちが、あるいは三重で学んだ若者たちが、三重で働き、暮らし、自己実現を果たせるよう、さまざまな取り組みを行っている団体や企業、県民の方々等からご意見を伺います。

開催日時 令和2年2月14日(金)
13時30分から15時30分まで

開催場所 三重大学生物資源学部校舎 1階 大会議室
(津市栗真町屋町1577)

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※詳細はお問合せいただくか、三重県議会ホームページをご覧ください。

「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を開催

三重県議会では、昨年6月に、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置し、大学教授など外部の有識者8人を委員として、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について調査を行っています。

10月7日に第1回調査会を開催した後、11月14日に第2回調査会、12月9日に第3回調査会を開催し、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」について、委員間で協議が行われました。



第3回調査会の様子

また、12月1日から12月2日にかけては、県南部地域への現地調査が実施されました。現地調査では、南伊勢町議会、奥伊勢フォレストピア、尾鷲市役所、三重県熊野庁舎を訪れ、人口減少時代におけるそれぞれの地域での課題やそれに対する対応、県と市町の関係等について、意見聴取を行いました。

全国都道府県議会議長会農林水産環境委員会の要請活動に出席

11月5日に、中嶋議長は、全国都道府県議会議長会で所属する委員会のうち、副委員長を務める農林水産環境委員会の要請活動に出席しました。

これは、10月31日に福井県で開催された定例総会の中で決定した提言について、関係機関等に要請を行うもので、中嶋議長らは、江藤拓農林水産大臣、小泉進次郎環境大臣らを訪問し、提言書を手渡しました。江藤農林水産大臣に対しては、CSF(豚コレラ)のワクチン接種後の風評被害等の防止対策を含む「食の安全・安心を確保する制度の拡充強化」などについて提言の実現を要請しました。小泉環境大臣に対しては、「環境政策の推進」について提言の実現を要請しました。



提言書手渡しの様子

2019年 三重県議会の活動10大ニュース

三重県議会では、毎年、県議会の活動内容を広く発信することで県民の皆さんに県議会への関心を持っていただくとともに、参加意識を高めていただけるよう、議会のホームページやe-モニター等を活用して、三重県議会の活動10大ニュースの選定を行っています。今回選定された取り組みは次のとおりでした。

- 開かれた議会運営の実現
- 県議会 Facebook ページの運用開始(「いいね!」上昇中!) (3月)
- 県議会新体制発足(決意新たに議会活動をスタート!) (5月)
- 三重県議会 議会活動計画」を策定(今後4年間の取組をあらかじめ!) (9月)
- 豚コレラへの対応(「補正予算先議、国への意見書を提出など!」) (9月)
- 独自の政策提言と政策立案の強化
- 外国人労働者支援調査特別委員会」を設置(参考人招致などにより精力的に調査!) (5月)
- 「大規模地震対応マニュアル」の改訂(大規模災害時の議員の行動等を明示!) (6月)
- 分権時代を切り開く交流・連携の推進
- 議会活力度調査で全国第1位(議会活動の取組が評価!) (8月)
- 議員報酬、政務活動費及び選挙など
- 議員報酬及び政務活動費削減を開始(議員報酬月額10%、政務活動費30%減額!) (5月)
- 選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置(外部有識者による調査をスタート!) (6月)
- その他
- インターンシップ実習生を受入れ(県議会の広聴広報について提言!) (9月)



三重県議会 Facebook ページへの「いいね!」を呼びかける正副議長

第19回都道府県議会議員研究交流大会に参加

11月12日に、第19回都道府県議会議員研究交流大会が東京都の都市センターホテルで開催され、三重県議会から10名の議員が参加しました。

都道府県議会議員研究交流大会は、都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての意見交換等を行うものです。

当日は、駒澤大学の大山礼子教授による「新時代における地方議会のあり方」と題した基調講演の後、5つの分科会に分かれて意見交換等が行われました。このうち、第5分科会「外国人観光客の増加と広域観光」では、戦略企画雇用経済常任委員長の東豊議員がパネリストとして登壇し、三重県における観光振興の取り組みについて報告を行いました。



三重県における観光振興の取組報告の様子

次回の発行は、令和2年(2020年)4月1日(水)です。(新聞折り込みは、令和2年4月5日(日)に行います。)

みえ県議会だよりは、年7回(4、5、7、8、10、12、2月の各月1日)発行します。